

本日のミッション

一年の大半が雪と氷におおわれている所で、人々はどのように暮らしているのでしょうか。

1 氷の上の生活と暮らしの知恵

カナダ北部には、(1)と呼ばれる人々が生活しています。かつて(1)の生活の中心は、(2)でした。冬は、表面が厚くこおった海の上に雪を固めて積み上げたドーム型の(3)を作り、そこに住みながら(4)を追って生活していました。一方、夏になると、雪が解けた沿岸部にあざらしの皮で作ったテントを組み立て、そこに住みながら(5)を追って生活していました。つかまえたカリブーの肉は、石で造った貯蔵庫に保存しました。

イヌイットの食事の中心は、魚と、あざらしやカリブーの肉です。あざらしやカリブーは、肉以外の部分も燃料や糸、工芸品として全て利用されました。

2 雪と氷の世界

カナダ北部では、気温が0℃以下の期間が長く、一年の大半は雪と氷におおわれています。このような地域を(6)と呼びます。イヌイットが生活する地域は、夏になると地面をおおう雪や氷は解けますが、夏の期間は(7)、気温も(8)以下と低いため、地面を少しほった所はこおったままです。イヌイットが住む地域の広い範囲では、北極に近い(9)に日がしずみません。逆に、(10)は太陽がのぼらない日何日も続きます。厳しい環境ですが、夏の日照時間が長い(11)が生えます。しかし、それ以外の植物は育たないため、(12)はできません。

3 外来の文化と生活の変化

カナダ政府は1950年代からイヌイットの(13)を進め、イヌイットが居住する町を造りました。それらの町には学校やスーパーマーケット、小型飛行機用の空港などが造られました。また、(14)も行われるようになり、冷蔵庫、電子レンジも使われています。カナダ国内や外国の食べ物が手に入るようになったこともあり、あざらしやカリブーの肉を食べる機会は減りましたが、今でもたんぱく質、ビタミンをとる食べ物として重要です。近年では、(15)や商業、観光業の仕事をするイヌイットが多くなりました。

No8 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々

p 26 ~ p 27

本日のミッション

冬の気温が世界一低くなるといわれるシベリアで、人々はどのように暮らしているのでしょうか。

1 世界でいちばん寒い地域

(1)に住む人々は、冬になると厚いコートを着て、大きな帽子をかぶります。住居は太い丸太を組み合わせた (2)が多く見られます。窓はがんじょうな(3)、玄関の扉は厚い木で造られています。これらはみな、とても寒い冬を乗り切るための工夫です。

シベリア東部にある、(4)や(5)では、(6)を記録したことがあります。

2 木や作物が育つ暑い夏

夏の服装は、冬とは反対にとっても薄着です。シベリアでは冬に(7)を下回る日がしばしばありますが、夏には(8)近くになる日もあります。このように、一年の気温の差が大きいのが(9 ())の特徴です。シベリアが暑いのはわずかな期間だけで、9 月になると急激に気温が下がり、雪が降ることもあります。

シベリアの人々の主食は、(10)で作った黒っぽいパンやゆでたじゃがいもです。シベリアは夏の気温が高いので、作物が育ちます。また、寒帯の地域とはちがって(11)と呼ばれる(12)の森林が形成されます。タイガを形成する(13)の仲間の針葉樹や、しらかばなどの(14)は、寒さに強く、シベリアを代表する樹木です。

3 都市の暮らしとレジャー

(15)は約 60 万人が暮らす、大きな都市です。郊外では 19 世紀以前に建てられた木造の住宅に住んでいる人たちもいますが、多くの方はコンクリート製のアパートや(16)に住んでいます。休日には郊外にある家庭菜園付きの小さな家(17)へ出かける人もいます。ここでは、夏にだけ味わえる新鮮な(18)や(19)を作りながら、短い夏の日差しを浴びて過ごします。

冬は、(20)、(21)、こおった(22)でのつりなどを楽しめます。屋外のアイスホッケー場は、町の至る所で見られます。

本日のミッション

達成できましたか？ (yes no)

本日のミッション

同じように温暖な気候の日本とイタリアには、どのようなちがひがあるのでしょうか。

1 丘の上に栄えるイタリアの町

イタリア中部には、丘の上に古くから栄えた町が見られます。町からは、周りに広がる(1)や(2)の畑が見わたせます。ぶどうから作った(3)、オリーブの実をしぼって採った(4)、(5)は、イタリアの食卓に欠かせません。(1)や(2)、(5)の栽培には、(6)が適しています。

かたい石が手に入りやすいイタリアでは、多くの住居のかべが石で造られています。石でできた住居の窓は(7)、窓の外側には木で作られた(8)がつけられています。夏には昼間でも(8)を閉じたままの住居が多く見られます。これは、(9)を家の中に入れないための工夫です。石のかべは熱を通しにくいので、(8)を閉じたままにしておくと、家の中は(10)、冷房はほとんど必要ありません。

2 乾燥した夏と雨が多い冬

日本の大部分や、イタリアのような温暖な地域を(11)と呼びます。イタリア中部は日本の北海道と同じくらいの(12)にありますが、(13)は関東地方と同じくらいであり、冬の寒さは北海道ほどではありません。イタリアには(14)はなく、雨の多くは(15)に降ります。6月から8月の夏はほとんど雨が降らないため(16)しており、昼間は(17)をこえますが、夜になると気温は下がり、(17)になります。このように、同じ温帯でもイタリアの気候は、日本とは大きく異なります。温帯の中でも、地中海の周りに広がっているこのような気候を(18)といいます。。

3 現代に生きる古くからの町並み

イタリア中部にある代表的な都市(19)が造られたのは(20)のことです。町の中心は広場になっており、広場に面して(21)があります。町全体に古い建物が並んでおり、なかには 500 年以上前に建てられた建物もあります。古い建物の室内は(22)されており、電気、水道、水洗トイレ、セントラルヒーティングなども完備しているので、快適に生活することができます。郊外には、サッカー競技場などさまざまな新しい施設が造られています。